



那覇市立教育研究所

所報第9号

平成23年1月17日

那覇市金城3-5-3

所長 池間生子

授業をかえるてがかりに!

所長 池間生子

今年度は、縁あって、宮城教育大学教授の相澤秀夫先生をお招きして二回の研修会を行う事ができた。

一回目は、暑いさなかの若狭公民館で模擬授業の形式を取り入れた講演会、二回目は、一回目の講演内容を実際に生徒を前にして飛び込み授業を行うという画期的な授業研究会と授業解説であった。

先生には、空港から小禄中学校へ直行して頂き二時半開始で四時四五分終了の予定の研修会であった。「終了です。」という合図を気にすることなく次々と出てくる質問や要望に快く対応して下さり本終了は五時半を過ぎていた。

中学校の国語の教師を対象に行われた研修会であつたが、次の三項目は、全教科に共通するのではないかと思われる内容の一部である。

○「大事なのは見える教師になること」

見える教師とは、授業の全体が見え、教材が見え、生徒が見える。生徒の思考の流れを大切にするためには、教師の準備した教材・教具を生徒の立場でイメージする事ができ、そしてそれを生徒が活用してどんな学びにつないでいく事ができるのかが見えている事です。

○「ねらいは短く、授業はシンプルに、教師は余計な

教師がしゃべって説明すれば理解できると思うのは、教師の思い込みで教えたつもりになつてているだけです。

発問で考えさせ、考えた事を書かせ、思考の後を残し、それを振り返ることで充実感につながり次の学習につながるのです。穴埋めのようなワークシートを活用する授業はやめましょう。自分の学習は自分のノートに自分で書くから自分のものになるのです。

○「評価とは」

ア生徒がどこまででき、どこで躊躇しているのかを把握することです。イ学習者を励まし、支える手がかりとしての資料です。ウ評価は回り回つて自分の指導力の評価なのです。

研修会終了後、内容をまとめながら、これまで行つてきた自分の授業が、本当に子ども達の学びにつながつていただろうかと考えさせられた。

研究員検証授業 長遠順二 1月13日(木) 神原小学校 5年3組

テーマ「表現する能力を育てる学習指導の工夫」～学習過程の中で「かく活動」に視点を当てた指導を通して～

单元「平行四辺形の面積」

仮説「学習過程の中で、課題を焦点化させて、問題解決の見通しをかいたり、長方形や三角形を図示したりする活動を行うことによって自分の考えを言葉や数式、図などでかくことができるであろう。

平成22年度 沖縄県到達度調査結果の考察 中学校

国語 課題となる問題例と指導の重点

- 国語A 問二「内容を聞き取り、適切なメモをとる」 30.7%
 国語B 問三「中心と付加の読み分けと要旨の捉え」 30.1%
 問二「展開に注意した読みと内容の理解」 32.4%

- ☆何のためにメモをとるのかを意識させる指導。
 ☆聞き手の目的によってメモの内容が変わることの理解。
 ☆文脈から読み取れる根拠を意識した指導。
 ☆文章の展開に即して内容を読み取る言語活動の充実。
 ☆読んだ内容や表現を活用する言語活動の工夫。

数学 課題となる問題例と指導の重点

- 数学A 問13「円の接線を作図することができる」 19.4%
 数学B 問3「事柄が一般的に成り立つ理由の説明」 17.7%
 問1「線対称且つ点対称な图形を捉える」 18.6%

- ☆作図技能ばかりでなく、手順の意味理解を重視した指導。
 ☆考えたことを言葉で書き表す指導。
 ☆操作活動を取り入れる等の数学的な活動を重視した指導。
 ☆関連した学習内容（柱体一錐体、比例一反比例）は、それその学習後に、対比させて考える場を設定する。

英語 課題となる問題例と指導の重点

- 英語 問8「文法事項がわかり、文字で正しく書く」 21.2%
 問6「適切な表現を自ら考える」 22.4%
 問4「適切な所有代名詞の選択」 30.3%

- ☆書く言語活動を多く取り入れ、表現の幅を広げる指導。
 ☆文章から得られる情報を適切に処理する力を育成する指導。
 ☆目標文の提示とふり返りの時間を設定し、スキル定着を図る。
 ☆4技能のバランスのとれた指導を繰り返し、「初步的な英語」を確実に使えるようにする。

平成22年度 沖縄県到達度調査結果の考察 小学校

国語 課題となる問題例と指導の重点

- 国語A 問六「接続語を正しく使う（なぜなら）」 56.7%
 国語B 問二「目的に応じて文章を正しく読む」 31.5%
 「書く必要のある事柄の収集・選択」 40.3%

- ☆文頭・文末表現、接続詞等の既習事項に着目させる指導。
 ☆繰り返し出でる言葉、キーワードに着目させる指導。
 ☆形式段落単位で事実と考えを区別しながら読む指導。
 ☆条件に沿って短文を書く過程を重視した指導。
 ☆マイノート等のノート活用を重視した指導。

算数 課題となる問題例と指導の重点

- 算数A 問14「基点が0でない場合の長さの測定」 37.7%
 算数B 問15「グラフ作成上の留意点の理解」 17.7%
 問9「構成要素を使った長方形の説明」 18.3%

- ☆問題場面を順序よく把握する習慣を身につけさせる指導。
 ☆場面を「図」に表現させる指導。
 ☆子ども自身が「難しい」と感じることを取り上げる指導。
 ☆「見方・考え方」に視点をおいた内容理解の重視。
 ☆記述式における一行の内容を精選した「書き方」指導。

1月13日(木) 校長連絡協議会

第7回校長連絡協議会において、到達度調査の結果分析資料をお配りし、短い時間ではありましたが説明を行いました。

- 各教科の「度数分布」「プロフィール」「課題となる問題と考察」を作成し、Desknet'sにアップしております。
 各学校の校内研等において、資料の詳しい説明が必要でしたらご連絡下さい。

